



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月9日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東  
 コード番号 7521 URL <http://www.musashinet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 村田 進 TEL 03-3546-7710  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	26,085	0.7	686	23.0	781	1.2	491	△1.9
27年3月期第3四半期	25,894	△2.1	557	△46.3	772	△30.2	501	△16.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 610百万円 (7.2%) 27年3月期第3四半期 569百万円 (△29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	66.09	—
27年3月期第3四半期	67.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	40,650	26,302	64.7
27年3月期	41,506	25,915	62.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 26,302百万円 27年3月期 25,915百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
28年3月期	—	10.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,650	△4.3	1,017	△28.4	1,103	△33.6	692	△36.9	92.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	7,950,000株	27年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	506,463株	27年3月期	506,447株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	7,443,544株	27年3月期3Q	7,443,587株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策や円安の定着などにより企業収益の改善が見られ、設備投資が持ち直すなど緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめアジア新興国の景気減速や急激な原油安のほか、中東において地政学リスクが高まるなど、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下のとおりであります。

#### (情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、非破壊検査機材の販売が商談遅延の影響により若干落ち込みましたが、スキャナー等の電子化機器の販売が伸びました。また、文書のデジタル化事業については、大口案件の受注を含め概ね順調に推移いたしました。

印刷システム機材は、印刷機器・材料の販売とも概ね順調に推移いたしました。

#### (金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、金融機関向け貨幣処理機器の更新の遅れと、セキュリティ機器の商談遅延の影響により低調に推移いたしました。

選挙システム機材は、統一地方選挙をはじめ、大阪府知事選挙などの各地方選挙向けに投票用紙交付機や計数機、読み取り分類機などの機器や業務管理ソフト等の販売が好調に推移いたしました。

#### (紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、紙器用板紙の販売は堅調でしたが、主力の印刷用紙と感光材料包装紙の販売が落ち込み低調に推移いたしました。

#### (不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高260億85百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益6億86百万円（前年同期比23.0%増）、経常利益7億81百万円（前年同期比1.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億91百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は303億24百万円となり、前連結会計年度末より9億78百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、現金及び預金の減少（4億95百万円）、受取手形及び売掛金の減少（4億59百万円）及び流動資産の「その他」の減少（1億90百万円）、増加の主な要因は、棚卸資産の増加（1億65百万円）であります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は103億26百万円となり、前連結会計年度末より1億23百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、投資有価証券の増加（96百万円）及び退職給付信託に係る資産の増加（34百万円）であります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は119億89百万円となり、前連結会計年度末より13億26百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（9億25百万円）、未払法人税等の減少（2億59百万円）及び賞与引当金の減少（1億83百万円）であります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は23億58百万円となり、前連結会計年度末より84百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、役員退職慰労引当金の増加（43百万円）及び固定負債の「その他」の増加（36百万円）であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は263億2百万円となり、前連結会計年度末より3億87百万円増加いたしました。

増加の要因は、四半期純利益4億91百万円及びその他包括利益の増加(1億18百万円)、減少の要因は、剰余金の配当2億23百万円であります。

この結果、自己資本比率は64.7%(前連結会計年度末は62.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月10付「第2四半期業績予想と実績値の差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,795	17,300
受取手形及び売掛金	10,528	10,069
商品及び製品	1,653	1,707
仕掛品	62	86
原材料及び貯蔵品	664	752
その他	622	432
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	31,302	30,324
固定資産		
有形固定資産	3,404	3,410
無形固定資産	198	180
投資その他の資産	6,600	6,735
固定資産合計	10,203	10,326
資産合計	41,506	40,650
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,265	7,339
短期借入金	3,521	3,621
未払法人税等	299	40
賞与引当金	369	186
その他	860	801
流動負債合計	13,316	11,989
固定負債		
退職給付に係る負債	187	191
役員退職慰労引当金	1,025	1,069
その他	1,061	1,097
固定負債合計	2,274	2,358
負債合計	15,590	14,347
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	22,638	22,906
自己株式	△576	△576
株主資本合計	25,275	25,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	494	599
退職給付に係る調整累計額	145	159
その他の包括利益累計額合計	640	759
純資産合計	25,915	26,302
負債純資産合計	41,506	40,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	25,894	26,085
売上原価	20,613	20,771
売上総利益	5,281	5,313
販売費及び一般管理費	4,723	4,627
営業利益	557	686
営業外収益		
受取利息	28	27
受取配当金	49	55
持分法による投資利益	9	2
貸倒引当金戻入額	0	0
保険解約返戻金	28	5
受取補償金	83	-
その他	43	32
営業外収益合計	243	121
営業外費用		
支払利息	27	26
その他	1	0
営業外費用合計	29	26
経常利益	772	781
特別利益		
有形固定資産売却益	121	-
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	122	-
特別損失		
会員権評価損	4	-
特別損失合計	4	-
税金等調整前四半期純利益	890	781
法人税、住民税及び事業税	65	185
法人税等調整額	323	103
法人税等合計	389	289
四半期純利益	501	491
親会社株主に帰属する四半期純利益	501	491

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	501	491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	103
退職給付に係る調整額	24	14
持分法適用会社に対する持分相当額	3	1
その他の包括利益合計	68	118
四半期包括利益	569	610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	569	610



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	16,834	4,126	4,776	156	25,894	—	25,894
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	1	10	—	192	203	△203	—
計	16,835	4,136	4,776	349	26,098	△203	25,894
セグメント利益又は損 失(△)	234	244	△13	90	555	2	557

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,639	3,971	4,309	164	26,085	-	26,085
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	3	55	-	190	248	△248	-
計	17,642	4,027	4,309	355	26,334	△248	26,085
セグメント利益	132	450	2	98	683	2	686

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。